

(4,000円)

実用新案登録願 願書 /

昭和56年5月

特許庁長官殿

1. 考案の名称

包装物

2. 考案者

住所 大阪府大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号  
大福機工株式会社内  
氏名 齊 藤 久 雄

3. 実用新案登録出願人

住所 大阪府大阪市西淀川区御幣島3丁目2番11号  
名称 (364) 大福機工株式会社  
代表者 佐 藤 修

4. 代理人

住所 〒550 大阪府大阪市西区立売堀1丁目6番17号  
アマノビル 電話大阪06(532)4025(代)  
氏名 (6808) 弁理士 森 本 義 弘

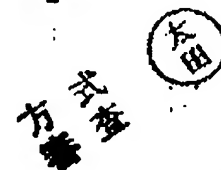
5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通 (4) 願特許料 本 1 通  
(2) 図 面 1 通  
(3) 委 任 状 1 通



56 066105

757



177969



## 明 細 書

### 1. 考案の名称

包装物

### 2. 実用新案登録請求の範囲

1. 底板と、この底板の相対向する一組の縁から立設した一对の側板とで収納枠を構成し、前記底板上に被包装物を載置し、そしてこれら底板と被包装物との外周に透明フィルムを巻回したことを特徴とする包装物。

### 3. 考案の詳細な説明

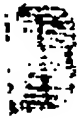
本考案は、被包装物を収納枠に定着させ得、そして被包装物の内容を常に把握し得、さらに容易に積重ね得る包装物を提案するもので、以下その第1実施例を第1図～第5図に基づいて説明する。

第1図において(1)は例えば段ボールからなる収納枠で、底板(2)と、この底板(2)の相対向する一組の縁から立設した一对の側板(3)(4)とで構成される。(5)は被包装物で、第1図仮想線に示すように底板(2)上に載置される。そしてこれら底板(2)と被包装物(5)の外周に、第2図～第4図に示すように両側

(1)

758

177969

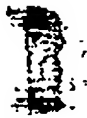


板(3)(4)を避けて透明フィルム(6)を、テンションをかけながら巻回している。

上記構成の包装物によると、透明フィルム(6)の締付け巻回によって被包装物(5)を底板(2)上に定着させ得、また透明フィルム(6)であることから、収納枠(1)の側部開口および上部開口を通して該被包装物(5)の内容を把握し得る。さらに第6図に示すように、側板(3)(4)の上縁間に渡される仕切板(7)を介在させることによって容易に搬重ね得、この場合に内容の把握は側部開口を通して可納となる。

第6図、第7図は第2実施例を示し、この場合に側板(3)(4)は上端から下方に折曲された側脚板(8)(9)を形成し、これら側脚板(8)(9)は底板(2)よりも下方に突出している。この形式によると底板(2)の下方に空間が生じることから、該底板(2)の換みを利用してクッション材を不要にし得る。

第8図、第9図は第3実施例を示し、この場合に側板(3)(4)の上端に外嵌する蓋(10)が準備される。この蓋(10)の高さは側板(3)(4)の高さに比べて十分に低くしてあり、したがって蓋(10)を外嵌したときに



生じる側部開口を通して内容の把握を行なえる。

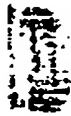
第10図、第11図は第4実施例を示し、この場合にマッチ箱状の外箱体(10)が準備される。包装物はこの外箱体(10)に対して、側開放を通して挿抜可能であり、この場合に側部開口を通して内容の把握を行なえる。

第12図は第5実施例を示し、収納枠(11)を複数段積重ねた状態で、使いすての箱(12)内に収納している。これによると大きなコンテナに容易に積重ね得る。

以上述べたように本考案の包装物によると、透明フィルム of 締付け巻回によって、被包装物を底板上にしっかりと定着させることができ、また透明フィルムであることから、収納枠の側部開口および上部開口を通して被包装物の内容(種類など)を常に把握することができ、さらに収納枠の両側板を利用して容易に積重ねることができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

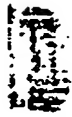
第1図～第5図は本考案の第1実施例を示し、第1図、第2図は斜視図、第3図は縦断正面図、



第4図は縦断正面図、第5図は横重ね状態での縦断正面図、第6図、第7図は第2実施例を示し、第8図は斜視図、第9図は縦断正面図、第10図、第11図は第3実施例を示し、第12図は斜視図、第13図は縦断正面図、第14図、第15図は第4実施例を示し、第16図は斜視図、第17図は縦断正面図、第18図は第5実施例を示す縦断正面図である。

(1) … 収納枠、(2) … 底板、(3) (4) … 側板、(5) … 被包装物、(6) … 透明フィルム、(7) … 仕切板、(8) (9) … 側脚板、(10) … 蓋、(11) … 外箱体、(12) … 箱

代理人 森本 義弘

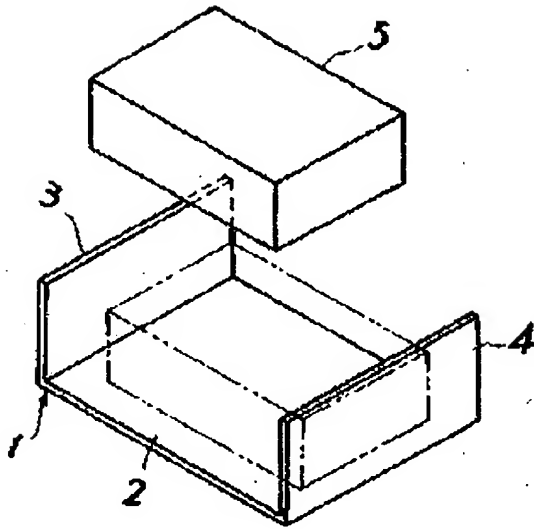


第4図は縦断正面図、第5図は横重ね状態での縦断正面図、第6図、第7図は第2実施例を示し、第8図は斜視図、第9図は縦断正面図、第10図、第11図は第3実施例を示し、第12図は斜視図、第13図は縦断正面図、第14図、第15図は第4実施例を示し、第16図は斜視図、第17図は縦断正面図、第18図は第5実施例を示す縦断正面図である。

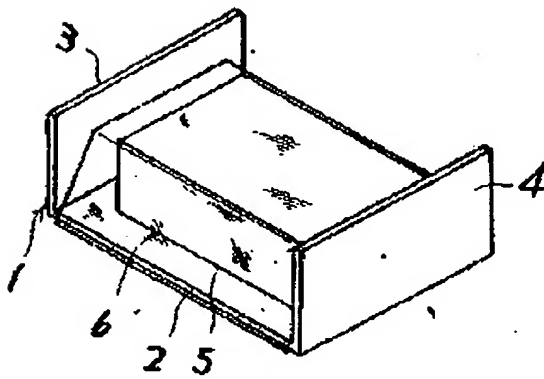
(1) … 収納枠、(2) … 底板、(3) (4) … 側板、(5) … 被包装物、(6) … 透明フィルム、(7) … 仕切板、(8) (9) … 側脚板、(10) … 蓋、(11) … 外箱体、(12) … 箱

代理人 森本 義弘

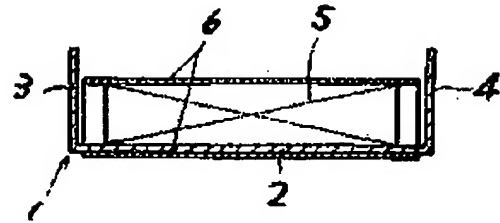
第 1 図



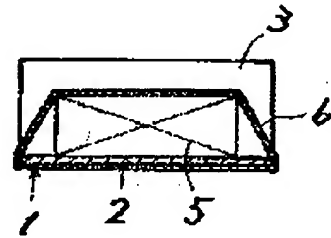
第 2 図



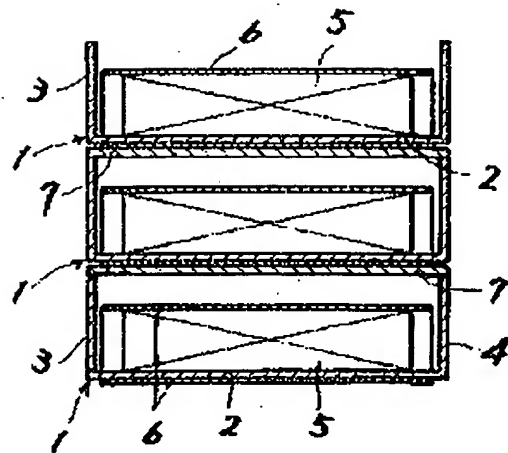
第 3 図



第 4 図



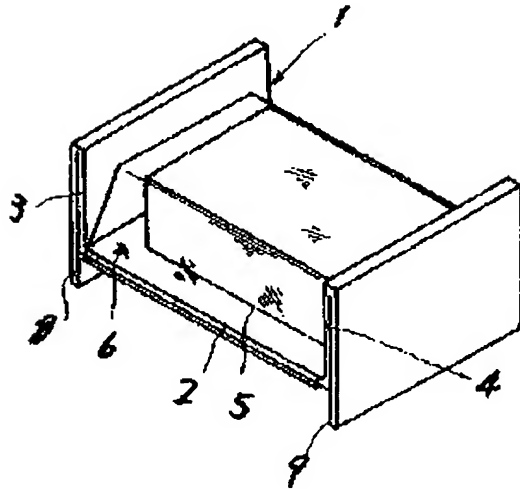
第 5 図



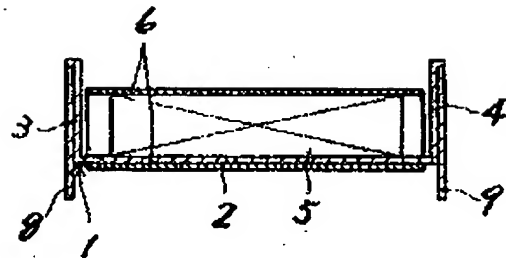
762

代理人 森本義弘

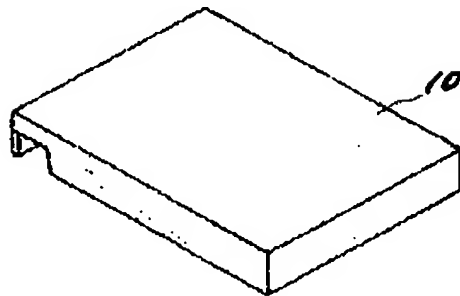
第 6 図



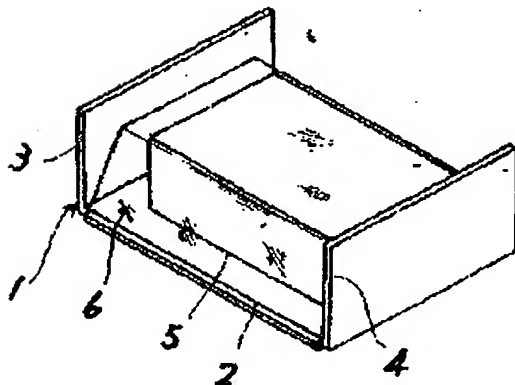
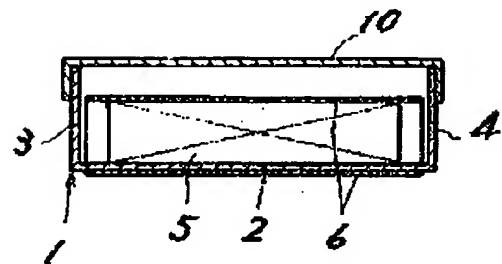
第 7 図



第 8 図



第 9 図

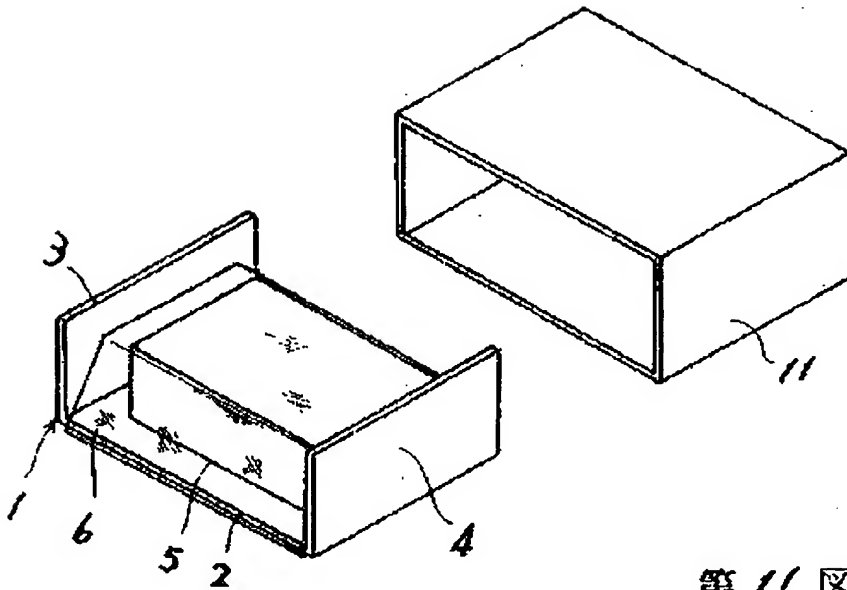


763

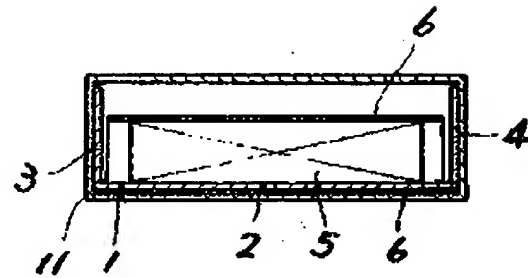
代理人 森 本 義 弘



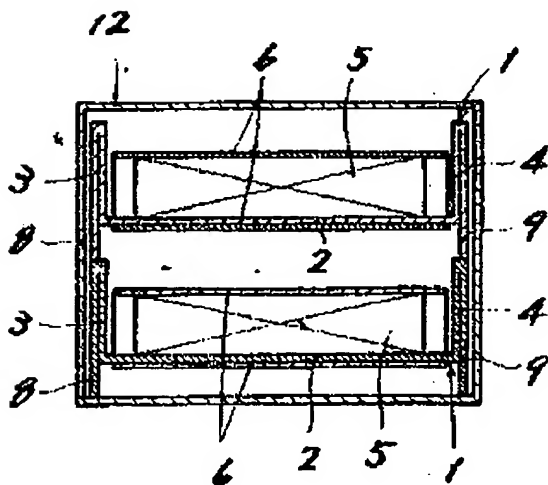
第10図



第11図



第12図



764

代理人 森本 義弘